

行政・公的機関

1.8	日ソ航空交渉妥結。モスクワ以遠権3地点増
1.11	北京に日本大使館設置
1.12	日本・ギリシア航空協定締結(1976.1.30発効)
1.30	通商産業省が「余暇白書」を発表
2.1	運輸省が日本航空の事故多発に対し運航関係者の資質向上など4項目を勧告
2.1	ニュージーランド大使館観光部開設
2.25	日本とエルサルバドル間で、3ヵ月以内滞在の査証・査証料相互免除協定が発効
3.1	日本とマルタ間で3ヵ月以内滞在の査証・査証料相互免除協定が発効
4.1	日本とキプロス間で3ヵ月以内滞在の査証・査証料相互免除協定が発効
4.2	「自然環境保全法」施行
4.11	アジア極東経済委員会(ECAFE)総会、東京で開催(～23)
5.15	東ドイツ(DDR)と国交樹立
6.1	消防法施行規則の改正により、防火管理制度および消防用設備の基準強化
6.29	大蔵省が「旅行者職業賠償責任保険」取扱いを損保4社に認可
8.3	東南アジア貿易投資観光促進センター第5回年次総会、東京で開催(～5)
8.14	大蔵省が「旅行者職業賠償責任保険」取扱いを損保11社に追加認可
8.20	日本とバングラデシュ間で、3ヵ月以内滞在の査証・査証料の相互免除協定が発効
8.27	観光政策審議会が、諮問「最近における内外情勢の変化に対応する国際観光の意義及び政策いかん」に対して、答申「国際観光の意義及び政策」を内閣総理大臣へ提出
8.29	「ハイジャック等防止対策要綱」決定
9.17	運輸省観光部が「添乗業務の適正化について」国際旅行者協会(JATA)に要請。経験する添乗者の派遣、添乗員研修と社内研修の充実を要望
10.1	「航空事故調査委員会設置法」が公布(1974.1.1施行)
11.2	「石油緊急対策要綱」を閣議決定。その中で観光主体の航空機便数の制限に言及
11.3	田中改造内閣発足。徳永正利運輸大臣就任
12.2	海外旅行外貨枠3,000ドル以下に引下げ
12.2	石油危機で緊急事態宣言。「石油需要適正化法」、「国民生活安定緊急措置法」公布施行
12.3	環境庁が「航空機騒音に係る環境基準について」告示

旅行業

2.6	JATAが、第1回「一般旅行業務取扱主任者研修会」を東京で開催
2.8	「観光産業労働者友好訪中団」が、中国国際旅行社総社の招請で訪中
2.22	第13回太平洋観光協会(PATA)ワークショップ、京都で開催(～23)
2.26	PATA第22回年次総会、東京で開催。41カ国・1,602人出席(～3.1)
3.2	「オーストラリア・ニュージーランド・日本旅行者合同会議」、箱根で開催(～3)
3.5	JATAと全国旅行業協会が、「旅行業協会連絡協議会」の発足に合意
3.6	西鉄航空がホールセール商品「ハッピーツアー」を発表
3.27	JATAが沖縄で、「指定講習会」と「取扱主任者試験」を実施(～29)
3.30	「日中友好旅行者協会」、JATA会社18社で発足
4.16	日本交通公社が、顧客を組織化するための「パスポート・クラブ」を設立
5.1	全国旅行業協会が「旅行傷害保険制度」を実施
5.21	中国国際旅行社の「訪日友好参観団」来日(～6.16)
5.24	(株)ヴィーヴル設立
6.1	ルックのツアー販売に付加手数料を導入。他社も追随
6.1	近畿日本ツーリストが、総合レジャー・クラブ「サンフラワー・クラブ」の会員募集を開始
6.15	ジャルパックがJCBカードと提携
7.1	日本旅行が、顧客組織化のため「日旅クラブ」を設立
7.2	JATAのチャーター小委員会が「新チャーター運賃体系の導入、国際航空運送協会(IATA)規約045の改定緩和」について、運輸省航空局と初の意見交換を実施
7.2	日本キリスト協議会と韓国基督教教会協議会が、買春観光を取上げる
9.21	日本キリスト協議会婦人委員会がJATAに「買春問題に関する声明文」を提出し、協力要請
9.22	トラベルジャーナル旅行学院(現トラベルジャーナル旅行専門学校)設立
10.1	(株)ヴィーヴルが、SIT(スペシャル・インタレスト・ツアー)専門の「ヴァリウーツアー」のホールセールを開始
10.1	米国旅行者協会(ASTA)日本支部が発足
10.2	「日本旅行者訪中友好代表団」(19社)が訪中(～11.10)
10.-	地中海クラブが、「地中海クラブツアー」を発売
11.2	(株)全日空エンタプライズ設立

航空

2.14	国際航空運送協会(IATA)が、通貨変動により、運賃を発地国通貨建てに凍結
2.26	北九州市の小倉空港を「北九州空港」と改称
4.1	IATA運賃が発地国通貨建てで表示となる
4.1	エールフランスが東京/タヒチ線の運航開始
4.2	ガルーダ・インドネシア航空が東京/香港線の運航を休止
5.1	全日空が福岡/那覇線の運航開始
5.15	TC-3地区運賃変更。オーストラレイシアGIT運賃(42%引き)新設その他
6.15	新潟空港がジェット化
6.15	日本航空とアエロフロートが新潟/ハバロフスク線の運航開始
7.1	IATA交換レート、1ドル=296円に
7.3	アエロフロートがモスクワ経由東京/フランクフルト線の運航開始
8.5	ルフトハンザ・ドイツ航空がシベリア経由フランクフルト/東京線の運航開始
9.10	成田空港の暫定パイプライン問題で、新東京国際空港公団と地元との話し合いが付き、起工承諾書に正式調印
9.28	日本航空のB747SR1番機が羽田着
10.1	エア・サイアムがバンコク/香港/東京/ホノルル線に週2便のジャンボ就航
10.1	シンガポール航空が、シンガポール/東京線に週3便のジャンボ就航
10.1	全日空が熊本/宮崎線の運航開始
10.5	「'73国際宇宙ショー」、入間基地で開催
10.6	日本航空が燃料不足で国際線臨時便の減便を決定
10.7	日本航空が東京/沖縄線に470席のB747SRを就航
10.3	アエロフロートがモスクワ経由ローマ/東京線の運航開始
10.-	イラン航空がテヘラン/東京線の運航開始
11.1	小松空港がジェット化
11.3	アリタリア航空がシベリア経由東京/ローマ線の運航開始
11.6	日本航空が一般向けセミナー「JALナイト」を全国主要14都市で開催(～30)
11.3	全日空が小松空港から初の国際チャーター便を香港へ運航
12.2	全日空が東京/長崎線の運航開始
12.20	全日空が長崎/鹿児島線の運航開始

海陸交通／ホテル／保険／その他

- 2.14 商船三井の「こっぼん丸」(1万3,000トン)が戦後わが国初の世界一周旅客船として横浜港出港
- 3.7 「1973国際ホテル・レストラン会議」, 関係6団体により東京で開催(～11)
- 3.16 京都第二タワー・ホテル(306室)開業
- 3.20 サン・ホテル・フェニックス(302室)開業
- 4.23 アメリカン・エクスプレスがフランス・フラン建てのトラベラーズ・チェック発売開始
- 4.28 軽井沢プリンス・ホテル(239室)開業
- 5.1 オリエント・オーバーシーズ・ライン(OOL)の「オリエンタル・プレジデント」が、横浜から香港・基隆クルーズに出港(～13)
- 5.10 センチュリー・ロイヤル(札幌, 336室)開業
- 5.15 西ドイツの豪華客船「ハンブルク」(2万5,000トン), 東京入港(～17)
- 6.10 札幌東急ホテル(263室)開業
- 6.15 「こっぼん丸」が、横浜から伊豆諸島ノン・ストップ・クルーズに出発
- 7.1 国際見本市船「さくら丸」が900人収容の純旅客船に改装
- 7.1 乗鞍スカイライン, 吾妻スカイバレー開通
- 7.2 鹿児島サンロイヤル・ホテル(337室)開業
- 7.14 ホリデー・イン京都(270室)開業。日本初のホリデー・イン
- 7.17 世界第2位のホテル・チェーン「ラマダ・インズ」が日本にチェーンを展開するため, 蝶理(株)と合併会社「蝶理ラマダ(株)」を設立
- 7.18 太平洋地域の一流ホテルが「ザ・プレミア・ホテル・オブ・ザ・パシフィック」のチェーンを設立
- 8.13 沖縄グランド・キャッスル・ホテル(305室)開業
- 9.1 岡山ロイヤル・ホテル(202室)開業
- 9.12 トマコマイ・ホテル・ニュー王子(200室)開業
- 9.17 「新さくら丸」(1万3,028トン)が、70日間世界一周クルーズに就航
- 10.6 「こっぼん丸」, 第7回総理府「青年の船」としてスリランカに派遣
- 10.3 「アーカディア」(3万トン)が鹿児島に入港。神戸, 横浜にも寄港(～31)
- 11.1 東洋一の吊り橋, 関門橋(1,065m)完成
- 11.20 東京ホテル浦島(1,001室)開業

社 会

- 2.12 欧州の通貨危機のため, 東京外国為替市場閉鎖
 - 2.13 神戸銀行と太陽銀行が合併
 - 2.15 都営ギャンブル全廃
 - 3.20 熊本地方裁判所が, 水俣病訴訟で患者側全面勝訴の判決
 - 3.29 (財)日本観光開発財団が「ヤングの旅行相談コーナー」を開設
 - 4.12 「国民の祝日法」の改正により, 振替休日実施
 - 4.27 資本自由化100%決定(5.1実施)
 - 4.29 春闘史上初の交通ゼネスト
 - 6.10 東京銀座地区と上野地区を結ぶ世界最長の歩行者天国(5.5km)スタート
 - 7.10 日光の「太郎杉」の伐採を建設省が断念
 - 8.8 韓国の新民党元大統領候補金大中氏が東京のホテルから誘拐される(金大中事件)
 - 9.14 「労働情報センター」設立
 - 9.15 シルバーシート登場
 - 9.22 朝日新聞が「キーセン観光」を問題視しレポート。東南アジアでの「夜の観光」が社会問題になる
 - 10.2 江崎玲於奈氏(米国IBM勤務)がノーベル物理学賞を受賞
 - 11.5 京都市がマイカーによる休日の観光の拒否を宣言
 - 11.2 オイル・ショックによる物資の買占めで品不足(洗剤, トイレット・ペーパー等)
 - 11.2 ガソリン・スタンドの日曜・休日閉鎖がスタート
 - 11.3 熊本市の大洋デパートで昼火事。買物客, 従業員103人, 負傷者111人
 - 12.20 海上保安庁が, 小笠原諸島四之島沖に噴火中の新火山島を「四之島新島」と命名
- [ベストセラー] 小松左京「日本沈没」, 山崎豊子「華麗なる一族」, 有吉佐和子「恍惚の人」
 [ヒット曲] 八代亜紀「なみだ恋」, 天地真理「若葉のささやき」, 麻丘めぐみ「わたしの彼は左きき」, チェリッシュ「てんとう虫のサンバ」, 五木ひろし「夜空」
 [ヒット番組] TBS「同棲時代」
 [流行語] ちょっとだけよ, ユックリズム, あんたも好きね, オイル・ショック
 [ヒット商品] デジタル・クォーツ時計, 電子レンジ

海 外

- 1.1 イギリス, デンマーク, アイルランドが欧州共同体に加盟(拡大EC発足)
- 1.8 タイのチェンマイ警察が, 7人のタイ女性を売買した玉本敏雄を逮捕
- 1.27 パリでベトナム和平調印
- 2.12 ニクソン米大統領がドルの10%切下げを決定(13日実施)
- 2.28 国際航空運送協会(IATA)が, 国際通貨問題を討議する緊急運送会議をロンドンで開催(～3.11)
- 3.19 欧州共同体(EC)が変動相場制に移行
- 3.27 米国政府が, 米国防空での民間超音速機の飛行禁止を発表
- 3.29 ニクソン米大統領がベトナム戦争終結宣言
- 4.1 北大西洋航空運賃, オープンに
- 4.7 東アジア観光協会(EATA)第7回総会および第24回理事会, ソウルで開催(～15)
- 6.3 ソ連のTU-144がパリ航空ショーで墜落事故
- 7.20 日本人1人を含むアラブ・ゲリラが日本航空機をハイジャック。ドバイ, ダマスカスを経て, リビアのベンガジで乗客を解放し, 機体を爆破
- 9.1 BOACとBEAが合併して英国航空(BA)として発足
- 9.6 エールフランスがカラチ, カイロ, ラングーン経由でパリ/北京路線の運航開始
- 9.9 第5回「ディスカバー・アメリカPOW WO W」, アリゾナ州ツーソンで開催(～12)
- 9.18 第28回国連総会開催。東西ドイツが国連に加盟(～12.18)
- 9.26 官設観光機関国際同盟(IUOTO)第23回総会, カラカスで開催(～10.15)
- 9.27 国際観光振興会(JNTO)が欧州で, 日本の旅行者23社と巡回観光セミナーを実施
- 10.6 第4次中東戦争ほっ発
- 10.6 JNTOと13都府県, 4市, 日本航空などが共同で「第13回全日本観光展」をダラスで開催(～21)
- 10.2 アラブ石油輸出国機構(OAPEC)加盟のペルシャ湾岸6カ国が, 原油の21%値上げを一方的に宣言(第1次オイル・ショック)
- 10.20 米国旅行者協会(ASTA)第43回世界大会, アカプルコで開催(～26)
- 11.2 ユナイテッド航空のビジット・USA運賃が発効
- 11.3 アラブ・ゲリラがイラク上空でKLMオランダ航空機をハイジャック。日本人177人を含む265人全員無事